

6.20 世界難民の日
World Refugee Day

難民映画の地域学・環境学

難民映画上映会

Vol.4

主催◆難民を映画から考える会 in 関西

後援◆国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 駐日事務所、京都市

NHK 京都放送局

6.15 MON

上映作品 **大地に響く歌**

制作■JEN / 2007 / ドキュメンタリー / 21分 / 日本語



国際協力 NGO ジェン (JEN) とは 1994 年 1 月に旧ユーゴスラビア地域における緊急支援のために設立され、難民・避難民への支援活動を開始した。南部スーダン、中央エカトリア州で、2007 年より水設備の設置、衛生改善事業を行う中、現地の声やプロジェクトの実施風景を映像に収めたドキュメンタリー。

6.16 TUE

上映作品 **ガーダ・パレスチナの詩**

監督■吉居みづえ / 2005 / ドキュメンタリー / 106分 / 日本語・英語



OL生活を捨てジャーナリストに転身しパレスチナで取材を始めた吉居みづえが、12年間の記録を映画化した第1回監督作品。難民キャンプで出会ったパレスチナ人女性、ガーダ・アギールの姿を通し、戦火にさらされながらもたくましく生きる人々の姿を描く。「キネマ旬報社」データベースより

6.17 WED

上映作品 **Invisible Children**

制作■ホビー・ベイリー、ローレン・ブル、ジェイソン・ラッセル / 2006 / ドキュメンタリー / 55分 / 日本語・英語



アメリカに住む 3 人の大学生がウガンダを訪れた。そこで彼らは、LRA(神の抵抗軍)という反政府武装勢力により平穏な生活を奪われた膨大な数の子供たちに出会う。否応なしに戦争の影響を受けながらも、力強く生きる人々に光をあてる。

6.18 THU

上映作品 **難民、故郷をはなれて**

企画：(財) アジア福祉教育財団難民事業本部 / 22分 / 日本語



1980年代前半に政情不安なベトナムを家族とともに逃れ、日本に定住した難民女性。母国をボートで逃れ海上でオランダのタンカーに救出された時の状況、日本で定住する上での困難の数々、現在の看護師としての仕事や生活についてなど、難民としての体験を語る。

◆会場

関西学院大学神戸三田キャンパス
III号館 101

◆時間

17:30~19:00 (作品により、終了時間は前後します)

◆スケジュール

第1部：難民とは。UNHCRの紹介

第2部：映画上映

難民を映画から考える会 in 関西では、関西の様々な大学で上映会を企画しています。その他の上映予定の詳細については下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ

日本国際民間協力会 (NICCO) 児玉、安田

TEL:075-241-0681 E-mail:info@kyoto-nicco.org

共催：難民を映画から考える会 in 関西 (共同運営：映像なんでも観る会、大阪大学グローバルイノベーションセンター (GLOCOL)、京都三条ラジオカフェ (FM79.7) 難民ナウ!、京都大学地域研究統合情報センター、UNHCR ユース、京都大学東南アジア研究所、社団法人 日本国際民間協力会 (NICCO)、総合地球環境学研究所、地域研究コンソーシアム社会連携研究会、同志社大学今出川校地学生支援課、Peace Project、立命館大学ボランティアセンター) 科学研究費「紛争後の国・地域における教育の受容と社会変容—「難民化効果」の検討」、文部科学省世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業「共生人道支援研究班」